

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月21日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森本美希
レジメン名	トラスツズマブ【初回】+ mFOLFOX6 (胃がん)		
疾患名	胃がん	適応の備考	CVポート 対象:HER2陽性胃がんのみ
適応分類	進行再発		
1コース日数	21	日間	総コース数
抗がん剤投与量・投与日		トラスツズマブ8mg/kg day1、オキサリプラチン85mg/m ² day1.15、5-FU400mg/m ² day1.15、5-FU2400mg/m ² day1.15(46時間持続)	

治療スケジュール・投与日程(投与日は●)		(day)																							
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body	90 分	●																				
	中心静脈注射	トラスツズマブ	8 mg / kg		●																				
	注射	注射用水20mL	1 本 / body		●																				
投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																									
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	中心静脈注射																								
	注射																								
3	主ルート	生食20mL	1 本 / body																●						
	中心静脈注射																								
	注射																								
4	主ルート	グラニセロン注ハック 1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●														●						
	中心静脈注射	デキサート注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●														●						
	注射	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●														●						
5	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●														●						
	中心静脈注射	オキサリプラチン	85 mg / m ²		●														●						
	Rp5とRp6を同時に投与開始する。																								
6	側管	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●														●						
	中心静脈注射	レボホリチート	200 mg / m ²		●														●						
	Rp5とRp6を同時に投与開始する。																								
7	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分	●														●						
	中心静脈注射	5-FU	400 mg / m ²		●														●						
	注射																								
8	主ルート	生食100mL	1 本 / body	46 時間	●														●						
	中心静脈注射	5-FU	2400 mg / m ²		●														●						
	インフューザーポンプ使用 希釈後の液量を総量100mLとなるよう調製する																								
9	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●												●	●	●			
	分2 朝食後																								

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例:Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ初回投与患者に使用する
トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg
トラスツズマブ:初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。
トラスツズマブ:次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。
トラスツズマブの投与間隔は3週毎、mFOLFOX6の投与間隔は2週毎に投与。
Rp5とRp6を同時に投与開始する。
day4.18のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる
day1.15のデキサート注は、6.6mgでもよい
デキサメタゾンを積極的に使用できない場合は、デキサメタゾンday2~4、16~18の代わりに5HT3拮抗薬day2~4、16~18を追加する
オキサリプラチン:希釈は5%ブドウ糖液のみ。
穿刺時に逆血を確認し、ポートの通過を確認すること
Rp8) 5-FU注は、インフューザーポンプを使用して投与する。